

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 22 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	伊藤 泰生
研究課題	大規模自然災害が企業の戦略的行動に与える影響の実証分析				
研究キーワード	事業戦略、探索と活用、自然災害、パネルデータ分析	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	8.働きがいも経済成長も	13.気候変動に具体的な対策を	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

本年度の研究は、昨年執筆した研究論文の内容をまとめて海外の査読付き雑誌に投稿しているが、現在査読中である。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文 (査読あり)】

【著書・論文 (査読なし)】

『経営戦略集中講義』今野喜文・真木圭亮他、2024、中央経済社、第8章担当

【学会発表等】

3. 主な経費

主にデータ分析のためのデータ購入や研究のためのタブレットの購入に経費を使用した。また研究に関わる書籍の購入などにも使用した。

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

【表彰】

2023 年度 Journal of Digital Life 若手奨励賞受賞 (Digital Life、2023 年 9 月)

【科学研究費】

基盤研究 (C) : 2022 年度~2025 年度、代表、「大規模自然災害が企業の探索的行動に与える影響—東日本大震災前後における実証分析—」(22K01680)

【その他の活動】

- 日本経営学会 幹事
- 組織学会 大会委員

(本文は2ページ以内にまとめること)